

第8回 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議 会議録

会議の名称	第8回 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議
開催日時	平成23年2月10日(木) 13:30~15:20
開催場所	小美玉市玉里保健福祉センター
出席者	<p>【出席者】 石田委員(座長), 谷口委員, 中西委員(代理), 田村委員(代理), 児玉委員(代理), 泰間委員, 服部委員(代理), 沼尻委員, 武藤委員, 佐藤委員, 木村委員(代理), 海老澤委員(代理), 仙波委員(代理), 勝谷委員(代理), 澤田委員(代理), 浅見委員, 栗原委員(代理), 田島委員, 川田委員, 増田委員(代理), 米原委員, 徳増委員, 鈴木(米)委員, 鈴木(幸)委員(会長), 藤枝委員(代理), 森島委員</p> <p>【欠席者】 小林委員, 檜村委員, 中島委員, 中村委員, 笹目委員, 島田委員(副会長)</p> <p>【事務局】 石岡市企画課, 石岡市都市整備課, 小美玉市企画調整課, 小美玉市都市整備課, 関鉄グリーンバス(株)</p>
議題	(議題) (1)利用状況等について (2)利用促進策について (3)総合連携計画の改正(案)について (4)事後評価と来年度事業(案)について (5)かしてつバス等のデザインの活用について (6)その他
会議資料	・会議次第 ・【議事資料】 議題1~6 ・【参考資料1】 BRT事業視察対応状況一覧 ・【参考資料2】 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議規約(改正版) ・【参考資料3】 委員名簿 (H23. 2. 10現在)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者5人)
審議の内容 (審議経過、結論等)	
石田座長	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員紹介及び挨拶 ・会長挨拶 ・座長指名 (石田委員を指名) ・以降, 座長の進行により資料説明及び検討を行った。 <p>改めて座長となります石田でございます。今回から新たなメンバーを加えまして, この戦略会議は益々強力になったと思いますので, ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>お手元の資料にあるように議題が(1)~(6)までと, 盛りだくさんの</p>

	<p>内容となっていますので、早速ですが、最初の議題に入っていきたいと思います。</p> <p>(議題)</p> <p>(1)利用状況等について</p> <p>【議事資料】を基に事務局(峯主幹)及び谷口委員から説明</p>
田島委員	最後の大口特約一括定期券というのはどのような割引になるのかお聞きしたい。
谷口委員	資料の6ページ目の沿線住民アンケート4/7と記載のある中に小さい表がありますけれども、ここの上のほうに大口特約一括定期券の説明が書いてありまして、「大口特約一括割引とは、学校や企業などが一定の数の定期券をまとめて購入することによって、通常の通勤・通学割引定期券より高い割引率で購入できる制度です。現在かしてつバスの利用促進のためこの制度の導入を検討しているところです。」とのことで、ここでは何割引きになっているとは言っていないですけれども、みんなでいっぺんに買うと安くなりますよ、という定期券のことです。
田島委員	このアンケート結果から、これからの利用状況などの将来予測にはつながらないのかお聞きしたい。
石田座長	<p>資料の2ページ目をご覧ください。かしてつバスが走りだす前から予想はしていたんですけども、非常に良いサービスを提供しているということが、このアンケート結果から読み取れると思うんです。代替バスに比べると8割の人が良くなったと思う人がいた。鹿島鉄道と比べても6割の人が良くなったと思う人がいた。その運行頻度、定時性、速度、運賃の問題など評価していただいていると思っています。そうすると良くなったんだからもっと使ってくれてもいいだろうと思うんですが、現実には鹿島鉄道の時には1日1,600人の人が乗降していたんですけども、このバスは今やっと700人を越えたというところで、代替バスに比べると増えていることは増えているんですけども、鹿島鉄道にはとどいていないという厳しい現実がございます。この原因ですけれども、鉄道が廃線になってBRTが走りだすまでに3年間の空白があったわけですね。その間に、高校生の諸君は原付に移ったとか、あるいはご家族の方に送迎してもらおうようになったとか、今までバスを利用していた方が自動車に移ったとか、原付に移ったとか、そういう習慣が強く残っていると思うんです。そういうことなんです、一旦このバスを使っただくと、アンケートにも表れているように便利で使い勝手が良いとお分かりになる。ですからこのギャップをですね、どう縮小していくか、使い勝手が良くて便利だよということをどう知らせていくかが今後の大きな課題でもあると思います。</p> <p>それと、先ほど谷口委員からもありましたとおり、まだ運賃高いよねという方もおられますように、また、終バスをもうちょっと遅くしてほしいというご要望もございますので、そのような要望をきめ細かく検討して対応していくことが非常に重要であると思っております。</p> <p>このようにかしてつバスのプロジェクトは、どのように認識されているのか、評価されているのか、要望事項とか、現実の乗降者数の推移がどうかなどのモニタリングがしっかりしておりますので、さらに改善して</p>

	<p>いくということを大いに期待できると思うんです。そういう意味でまだまだ始まったばかりであるというふうにも思いますけれども、悠長に構えていることもできなくて、早く当初の目標の鹿島鉄道のレベルまでもっていきたいなど、そのためにも引き続き皆様のご支援ご協力をお願い申し上げたいなと思っております。</p>
田島委員	<p>座長がおっしゃられていた3年間の空白の間の習慣というのは、私もそれとなくバスに乗り合わせた高校生に聞きますと、鹿島鉄道が無くなった段階でやはり親に送ってもらったとか、そういう声を聴きましたので全く同感であります。</p> <p>それと、高校生は毎年変わっていくわけでございますけれども、絶えず変わっていく高校生にこういう習慣をつけるということをどのようにしていくかということを是非みなさんで考えていただく必要があるのではないかと思います。</p>
石田座長	<p>田島委員がおっしゃられたようにこれからの利用促進策が非常に重要でございます。次の議題が利用促進策でございますのでそちらの説明をお願いいたします。</p> <p>(議題) (2)利用促進策について 【議事資料】を基に事務局(峯主幹)から説明</p>
田島委員	<p>サポーターズクラブに加入しての特典として一般乗車券(定期券以外)の割引は無いのでしょうか。日常的に使う人もいるかと思うので定期券以外の対応方法などについても教えていただけないでしょうか。</p>
事務局(峯主幹)	<p>回数券など定期券以外のものもあるかと思いますが、最初の導入時においては定期券のみの割引を行い、その状況を見て今後、他の乗車券も採用していくかどうかとも検討していくところでございますが、今回は定期券のみということで検討してございます。</p>
川田委員	<p>サポーターズクラブ募集の働きかけということで、沿線自治会などありますが、取りまとめとして自治会の役割はどの程度までと考えているのかお聞かせいただきたい。</p>
事務局(峯主幹)	<p>取りまとめというと、申込書の取りまとめということでよろしいでしょうか。</p>
川田委員	<p>はいそうです。</p>
事務局(峯主幹)	<p>事務局において、申込書を用意しまして自治会の集会などで事務局が出向き説明を行い、その場で申込書を記入していただければ、その場でお預かりするかなどの対応があるかと思いますが、まだ具体的には決まっておりませんが、自治会で申込金の徴収なども一括してご協力いただければお願いしたいというところでございます。</p>
川田委員	<p>正直自治会としては、お金の取りまとめなどまでの波及はできないのか</p>

	<p>とっております。</p>
<p>石田座長 事務局（宮本 課長）</p>	<p>事務局として、サポーターズクラブに入会するにはどこに行けばできるかなど考えがあるようでしたら説明ください。</p> <p>この戦略会議の中で、この制度の導入に賛同をいただきましたならば、細かな点については今後取り決めをしてご連絡をしていく形になっていくことと思います。また、先ほど川田委員からお金の取扱については、ということもございましたので、その辺を含めまして協議をしていきたいと思っております。このサポーター制度の大きな要因として先ほど説明がありましたけれども、バス路線を支えることで、マイバス意識を高揚させるということが一番のポイントでございますので、自治会の協力無くしてできないものだと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>石田座長</p>	<p>この大口割引制度というのはですね。関東鉄道さんのご協力をいただいて最初に筑波大学で導入をいたしました。今は8,000枚の定期券を売っています。学生と教職員合わせて年間8,000枚くらい売っている状況です。関東鉄道から筑波大学が6,000枚を一括して購入するという契約を行っているため、関東鉄道のほうも売れ残るということが無い。そのよなリスクが無いのでその分非常に割安にして提供いただいております。そのようなことをこのサポーターズクラブでできないかというアイデアでございます。ただですね、最悪のシナリオを考えなくては行けなくて、今現在既に通勤・通学定期をご利用いただいている方は絶対にこのサポーターズクラブに入られますよね。なぜなら1年間に11,000円くらい得する訳ですから、新たに定期券を購入していただく方が増えない限り関鉄グリーンバスとしてはサポーターズクラブに入って定期を買われる度に11,000円の減収になるわけその減収分にならないようにしなければいけない。そういう意味で関鉄グリーンバスさんに感謝しなければいけないのは、敢えてそのようなリスクを取っていただいている訳ですよ。それは非常に感謝いたしたいところですけども減収になってしまうとこの制度も長続きしませんから、減収にならないように是非いろんなところで働きかけをお願ひしたい。その一つとしてここに居る人の数をざっと確認しましたら、記者さんも含めて50人くらいおられる。その50人がサポーターズクラブの会員になっていただければそれだけで5万円の収入になりますので、そのようなご支援も含めて是非お願ひをできればと思ひます。こういうことで、実際に定期券など必要とされる方に買っていただけるように、かしてつバスが非常に良いよということが分かっていたらその輪が広がっていくことが、色々な形で、色々なチャンネルで広げて、実際に定期券を買っていただける方を増やさなければ、これが死んでしまいますので是非よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>田島委員</p>	<p>目的が何をサポートするかも分かっている訳ですので、定期券もそうですが、一般市民の方々の利用を促進する意味も含めて、定期券は買えないけれどもサポーターとして使える何かを考えていただきたい。先ほど川田委員が質問されていた、その取りまとめの仕方、あるいは関鉄グリーンバスさんの営業所がどこにあるのかも分かりませんので、市役所のほうで窓口を作っていただいて、市民の方が市役所に行けば申込でき</p>

	<p>る、それから何か割引のついている回数券も買えて利用できるというような易しい方法を考えていただければと思います。</p>
事務局（宮本課長）	<p>今、石岡市で進めております石岡市中心市街地活性化基本計画がありまして、昨日その中の事業として農産物直売所がオープンしまして15日には石岡カフェというものがオープンしますけれども、現在関鉄グリーンバスさんのほうの定期券の販売については行里川にあります営業所のほうでやっておりますけれども、今調整をしている最中でございますので、その街中の二つの店舗のいずれかで、あるいはサポーターズクラブの会員の受付をできるという方向で調整をしている状況でございます。できるだけ利便性が図れるようにしていきたいと思っております。</p>
石田座長	<p>それでは、ただいま提案のありましたサポーターズクラブ制度の導入と大口特約割引定期券の制度導入についての利用促進策についてご承認いただいてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
石田座長	<p>その際に受付の窓口や、加入についての広報周知徹底を図っていただきたいということと回数券の導入についても引き続きご検討いただければと思いますのでよろしくお願いをいたします。</p>
事務局（峯主幹）	<p>先ほどの「3 サポーターの名称」ということで、効果的に活動するにあたり名称を決められればということと数案ご提案させていただければと思います。</p>
石田座長	<p>例として「かしてつバス・サポーターズクラブ」と「かしてつバス応援団」などと書いてありますけれどもいかがでしょうか。</p>
田島委員	<p>「かしてつバス戦略会議」という名称でもよろしいのではないのでしょうか。市民の方々にもこのような組織の存在や、バスが走っていることを分かっていたいただければということとあまり易しくしないで「かしてつバス戦略会議」でいいと思いますが。</p>
石田座長	<p>戦略会議のメンバーになるということですか。これは、券の名称ではなくサポーターズクラブという組織の名称です。</p>
川田委員	<p>例として二つ上がっていますが、かしてつバス応援団さんの組織の活動も長い歴史がございますので、区別する意味でも「かしてつバス・サポーターズクラブ」でいいのではないかと思います。</p>
石田座長	<p>かしてつバス応援団の団長でもある米原委員どうですか。</p>
米原委員	<p>かしてつバス応援団は主に高校生が中心となっているので、一緒の名称にしてもらうのはひかえてもらいたいです。</p>
石田座長	<p>ということですので、「かしてつバス・サポーターズクラブ」という名称でよろしいでしょうか。</p>

委員	異議なし。
石田座長	是非かしてつバス応援団の高校生の皆様にも定期券を買っていただいてサポーターズクラブに入っていただきたいと思いますので、かしてつバス応援団員は全員がサポーターズクラブのメンバーになってというふうをお願いしたいと思います。
	(議題) (3)総合連携計画の改正(案)について 【議事資料】を基に事務局(峯主幹)から説明
石田座長	特約定期とサポーターズクラブをちゃんとやると先ほどお決めいただいた訳でございますので、役所に届け出るこのような計画の中にもきちんと反映しないとまずいと思いますので是非ご承認いただければと思います。
委員	異議なし。
石田座長	ではこのように改定するということをご了承いただきました。
	(議題) (4)事後評価と来年度事業(案)について 【議事資料】を基に事務局(鈴木補佐)から説明
田島委員	先ほど事務局から説明のあった沿線住民アンケートや利用者アンケートの中で最終時間の延長などというのがありましたけれども、それについてはどこで読み取ればいいのでしょうか。
事務局(鈴木補佐)	アンケートの中でも終バスの時刻延長の要望が出ておりますので、この改善要望を加味したダイヤ改正ができればと思っております。ただこればかりは事務局だけではできませんので、関鉄グリーンバスさんの意向もございまして、こちらは協議して進めていきたいと考えております。
田島委員	それはこのページの中のどこで読み取ればいいのでしょうか。
事務局(鈴木補佐)	終バスのことについては、こちらには記載はございません。
田島委員	事後評価なので改善要望についてどう対処していくかが見えていけばいいのですが、そこが見えなかったものですから。どこかで読める部分があるといいのですが。
石田座長	終バスという文言はありませんけれどもⅠ総合評価の下の欄に「合わせて地域住民の意向調査・・・」という言葉があってやっている訳でして、そういうことを踏まえて実証運行の効果を向上させ本格運行に移行できるような環境整備を実施したという、それは終バスがどうだとか運賃

	<p>がどうだとかという中身そのものでございますので言葉はありませんけれども、この中に含まれていると考えてよろしいのではないのでしょうか。</p>
事務局（鈴木補佐）	<p>更に、11ページのIV自立性・持続性のところで書かれているところを見ていただきたいのですが、利用者増を図るための課題として認識しその解決方法への検証と書いてございますのでこちらでご理解いただければと思います。</p>
谷口委員	<p>11ページの「本年度実施したワンショットTFPやモビリティマネジメントの効果測定を引き続き実施したいと考えている。」の効果測定の部分を削除してもらえたらと思います。そのほうが文章としてはつながるのかと思います。モビリティマネジメント自体は効果測定ではなく利用促進策そのものなのでよろしく願いいたします。</p>
事務局（鈴木補佐）	<p>1月31日付けで運輸局のほうに提出してしまいましたので訂正ができるようであれば訂正させていただきます。</p>
谷口委員	<p>じゃいいです。</p>
石田座長	<p>それではそのようにご理解いただければと存じます。 それから事業計画案でございますが、先ほどから言っていますようにモビリティマネジメントとかですね普及促進というのが非常に重要だと思うんですけど200万円で大丈夫ですか。まあ無い袖は振れないので何とかするしかないかと思うのですが。</p>
事務局（鈴木補佐）	<p>200万円という予算ですのでその費用で最大限活用していけるようやっていきたい。また、両市での広報紙などを活用しながら、またホームページ等で広報させていただければと思っております。</p>
石田座長	<p>200万円には入っていないけれども市の持っている他の媒体を使って積極的に広報をしていくという理解でよろしいですね。</p>
事務局（鈴木補佐）	<p>はい。その通りでございます。</p>
石田座長	<p>それでは、説明の通りでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
	<p>(議題) (5)かしてつバス等のデザインの活用について 【議事資料】を基に事務局(藤枝係長)から説明</p>
田島委員	<p>バスのデザインそのものの中で、バスの内装のデザインがあまりにもぞんざいなデザインであるように見える。要するにパーツがみみっちいんです。現在のJRですら柱や手摺なんかにもデザインのいいものを使っている訳で、それがかしてつバスに乗ったとたんは何だこれはと思った</p>

	<p>ものですから、ただ最近1台だけ新しいバスが入っていてまあまあすっきりしたデザインのバスなので感心したんですが、手摺がオレンジ色か黄色のものがあるかと思いますが、あれはデザインとしては見つとも無いので是非改めたほうがいいのではないかと思います。他所から来た人が乗った途端に何だこれはということになってはいけません。</p> <p>外装については左右で色が違うのはおもしろいと思います。</p> <p>また、バス停で待っていて新しいデザインのバスがやってくるとほっとするのですが、今までの関鉄グリーンバスさんのデザインのバスが来るとがっかりするんですね。ミサワホームなどの外装広告のようにラッピングで変えられるのであれば既デザインのバスも外装を変えてほしいというのが一般客としての意見であります。</p>
<p>石田委員</p>	<p>開通式にですね、当時の藤本政務官や国交省から偉い方々が来ていただきましたけれども、田島委員と同じような印象をおっしゃっておられました。中に乗った時にもっと華々しいものがあるとよかったね、とおっしゃっておられました。財政事情が厳しい中でここが精いっぱいですよと答えました。</p> <p>それからこの「か」のロゴマーク実にはいいと思うのですがサポーターズクラブの入会受付をする場所とか定期券の販売所にですねこのロゴを使っただいて、個人的にはのぼり旗はあまり好きではないんですけど、ほかのものでも何か作っただいて、ここでサポーターズクラブのメンバーになれるよ、とか、定期券買えますよ、とか分かりやすくなればいいんじゃないかと思しますので、そのような使い方もし是非ご検討いただければと思います。</p> <p>デザインを活用し積極的に展開していくということをご了承いただいたということによろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし。</p> <p>(議題)</p> <p>(6)その他について</p> <p>【議事資料】の6以降を基に事務局及び委員から説明(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻改正(関鉄グリーンバス長津常務) ・ニューズレターの発行(朝比奈主幹) ・MM活用動機付け冊子の配布(朝比奈主幹) ・沿線住民の取り組み等(川田委員)
<p>事務局(関鉄グリーンバス長津常務)</p>	<p>先ほどお話のございましたバスの内装デザインでございますが、バリアフリーに対応したユニバーサルデザインを採用しているものでございまして、柱の色、床の色、座席の色も指定されたものしか採用できないということになっております。私どもも当時新型車両を導入するに当たり、市の担当の方と協議いたしましてバリアフリー法に適合する内装でいこうと決めたところです。</p>
<p>浅見委員</p>	<p>このBRTの現在の状況と茨城県の都市計画の情報について少しお話させていただければと思います。茨城県では現在、第6回の都市計画の定期見直しというものを行っておりましてその中で、人口減少や少子高齢化社会、あるいは地球規模の環境問題、あるいは低炭素社会へ向けた</p>

取り組みなどがあり、公共交通機関は地方では大変寂れていっているというような背景を受けまして、コンパクトシティを目指すということで集約と連携というのを一つのキーワードとして今まちづくりを進めているところです。本年度でございますけれども全体の県の計画を受けまして都市計画区域ごとのまちづくりの方針を3月の都市計画審議会に諮ってお示ししようとしているところです。

そのような背景の中で昨年8月に石田先生のご指導の下に国土交通省、それから経済産業省のご支援をいただきましてBRTが開通したわけでございますけれども、このBRTは公設民営方式では全国初ということで極めて全国的に注目度が高いと。今、事務局のほうから説明がありましたけれども参考資料1にありますように県外からも視察がきているということで、私たちとしましてもこれを絶対に失敗させる訳にはいかないというふうに思っております。いわゆるバス路線は非常に苦しい立場である中で関鉄グリーンバスさんのご協力を得ましてこのBRTが日本全国で初めてできましたものですからこれを失敗させる訳にはいかないと思っている訳でして、富山市のLRTのように線路が残っている場合にはそのような選択肢もあったのかとは思いますが、インシヤルコストが高いということで、このBRTが茨城県で成功した事業であるので非常に注目度が高くて実は、国土交通省のほうに行っても国の方に茨城県のBRTがこけると全国的にもBRTをやるところが無くなってしまふ。何としてでも頑張ってくれというふうに言われているところでして、これから大口特約とかアンケート調査で悪くなったという回答を出した方が数パーセントいたわけですので、その意見をハード面、ソフト面で対応していくというようなことを、きめ細かにやっていただいて、地元の方が愛着を持って育てていこうということにならないと長続きしないと考えている。とにかく一発で終わろうというものではなく、これからも長続きできるように県、地元市、民間の方一緒にやっていかなくてはいけないのかと思います。

とにかくこれからの高齢化社会になっていきますと電気自動車にいきなり移行するというよりも公共交通機関の活用ということになるので、非常に重要な位置づけになるかと思っておりますので是非今後とも皆様のご協力をお願いしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

石田座長

強い思いを述べていただきありがとうございます。是非、県としてもBRTにご支援いただけるようお願いいたします。

15ページにバスなのに遅れないというのがあるかと思いますが、かしてつバスは車から比べると約2分前後で到着する割合が9割くらいであって車に比べて非常に定時性に優れているということでございますけれども、谷口委員がデータの整理をしたところ、車はバスに比べて確かに定時性は悪いけれどもかしてつバスの導入の前と比べると車の定時性もずいぶん向上しているというのがデータの的にも明らかになっております。ということは、かしてつバスの利用者だけに効果が及んでいるのではなく、実は自動車を使っている方にもそれなりの効果が出ているということでございますので、なんでバスだけ特別なんだとか、車のほうはどうしてくれているんだ、など納税者の方からもご意見等があるかと思いますがそのような効果も実証されておりますので、多分バスに乗ってくれている方が増えれば増えるほどそのまた効果も自動車のほうにも及びますので、そのようなことも広報していただけるかと思っております。ニューズレターでも活動やそのような効果もお知らせできるか

<p>田島委員</p>	<p>と思いますので非常に良いのかと思います。 それでは、最後にかしてつバスの全般に関するご意見等がございましたらお願いいたします。</p> <p>南台一丁目バス停に自転車置き場があるのですが、車輪止めの位置が地上から30センチくらいのところにあるので間違っってそこを歩行すると足が引っ掛かり危険な状況となるので人が通行できないように上側にもう一本バーを追加していただけるなどの対策をお願いしたい。また、バス停の周辺が暗い状況でもあるため合わせて対策をお願いしたい。</p> <p>また、以前からお話しさせていただいているアジサイの植栽については、箱根登山鉄道が例としてありますけれども、あそこは社員の方が植えている。植えている場所を見ると植えられるところすべてに植えているようですのでかしてつバスでも可能ではないかと思う。私の住んでいる南台一丁目のバス停付近は道路端に土が露出しているところがあるのでそこに植えようと考えていたら、市役所で植えていただけるということで安心しております。植える時や花の整理する時などには自治会のみんなで保安要員をつけていただけるならば作業ができると思いますのでそちらもよろしくお願いいたします。南台一丁目自治会では植えることを想定して約70本市民が苗木を育てています。集めるのは少し厄介ですが用意はできる状況です。</p>
<p>事務局（宮本課長）</p>	<p>長時間に渡りありがとうございました。先ほど会議の中で説明させていただきましたアンケート調査などの中で出ておりました終バスの時刻延長につきましては、関鉄グリーンバスさんと協議させていただきながらできるだけ反映していきたいと考えております。また、ご審議いただきました連携計画の改正につきましても所定の手続きを行いまして変更策定をさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>それでは、以上を持ちまして第8回かしてつ沿線地域公共交通戦略会議を閉会とさせていただきます。</p>